

第2章 第1次計画等の成果と課題

「八戸市食育推進計画」及び「はちのへ食育行動プラン」では、より効果的で実効性のある施策を展開するため、数値目標を設定した合計15の指標を掲げています。

ここでは、各指標の数値目標の達成状況を評価するとともに、今後の課題についてまとめました。

なお、達成度の判定は、第2次青森県食育推進計画の「第3章 第1次計画等の成果と課題」と同様とします。

		結 果		
		計 画	プ ラ ン	
達成度 の判定	◎	「目標値」を達成した場合	0	1
	○	「現状値」が、「策定時の現状値」と「目標値」の範囲の6割を超えた場合 $\frac{\text{現状値} - \text{策定時の現状値}}{\text{目標値} - \text{策定時の現状値}}$	0	4
	△	「○」に達しない場合	3	7
		合 計	3	12

1 八戸市食育推進計画

① 食育に関心を持っている市民の割合

食育に関心を持っている市民の割合は、策定時に比べ低くなり、目標値に達しませんでした。今後は、食育に関心を持っている市民の割合が高くなるように、広く周知に努めていく必要があります。

策定時の現状値 (H19)	目標値	現状値 (H24)	達成度
75.9%	90%以上	61.3%	△

※「策定時の現状値」は、平成19年度実施の「食育に関するアンケート」で、食育が「必要である」「どちらかといえば必要である」と回答した成人（無作為）の割合

※「現状値」は、平成24年度実施の「食育に関するアンケート」で、食育に「関心がある」「どちらかといえば関心がある」と回答した成人（無作為）の割合

② 「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている市民の割合

食事バランスガイド等を参考に食生活を送っている市民の割合は、策定時に比べ低くなり、目標値に達しませんでした。今後も、はちのへ食事バランスガイドをはじめ、「食生活指針」「日本人の食事摂取基準」「6つの基礎食品」「3食分類」などを参考に食生活を送っている市民の割合が高くなるように、広く周知に努めていく必要があります。

策定時の現状値 (H19)	目標値	現状値 (H24)	達成度
17.5%	60%以上	11.7%	△

※「食事バランスガイド」等とは、「食事バランスガイド」のほか「食生活指針」「日本人の食事摂取基準」「6つの基礎食品」「3色分類」を含む。

※「策定時の現状値」は、平成19年度実施の「食育に関するアンケート」で、食事バランスガイドを「毎日参考」「ときどき参考にしている」と回答した成人（無作為）の割合

※「現状値」は、平成24年度実施の「食育に関するアンケート」で、毎日の食事で気をつけていることとして「食事バランスガイド、食生活指針、日本人の食事摂取基準、6つの基礎食品、3色分類等のいずれか1つでも参考にして食生活を送っている」を選択した成人（無作為）の割合

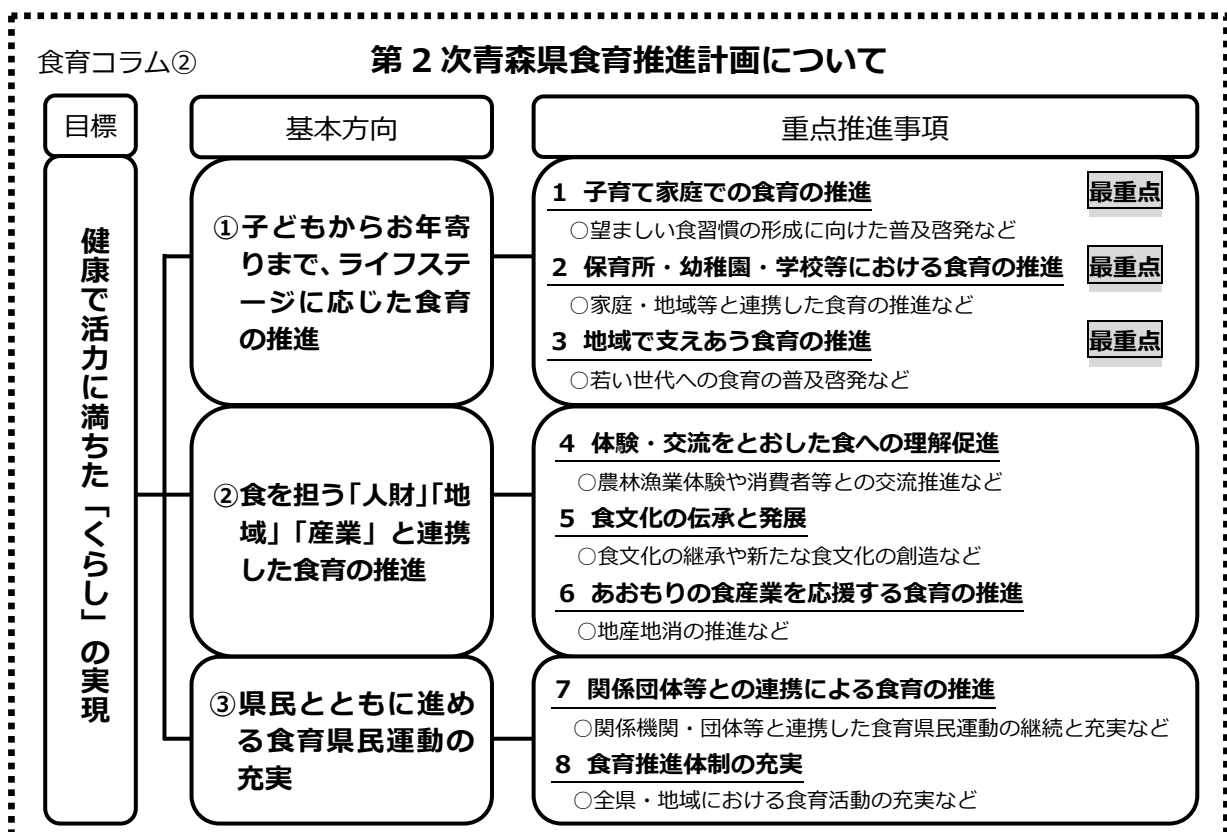
③ 食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合

食品の安全性について正しい知識を持っている市民の割合は、目標値に達しませんでした。今後さらに、消費者、生産者、食品関連事業者、行政等の関係者間で、連携をして、正しく市民に分かりやすい情報提供に努めていく必要があります。

策定時の現状値 (H19)	目標値	現状値 (H24)	達成度
50.4%	60%以上	46.7%	△

※「策定時の現状値」は、平成19年度実施の「食育に関するアンケート」で、食品の安全性に関する知識を「持っている」「どちらかといえば持っている」と回答した成人（無作為）の割合

※「現状値」は、平成24年度実施の「食育に関するアンケート」で、食品の安全性に関する基礎的な知識を「持っている」「どちらかといえば持っている」と回答した成人（無作為）の割合



2 はちのへ食育行動プラン

(1) 家庭における食育の推進

① 朝食を欠食する市民の割合

朝食欠食率は、「こども」は目標値には達していないものの、策定時より欠食率が減少し改善されました。また、朝食欠食が高かった「20～30代男性」では大幅に下がり、目標値を上回りました。今後も、はちのへ食育推進運動「早寝早起き朝ごはん」を通して、学校、家庭、地域や企業、民間団体等の協力を得ながら普及・啓発に関する取組を推進していきます。

	策定時の現状値 (H19)	目標値	現状値 (H24)	達成度
こども	1.2%	0%	0.8%	△
20～30代男性	16.4%	15%以下	7.3%	◎

※「策定時の現状値」は、平成19年度実施の「食育に関するアンケート」で、朝食を「ほとんど食べない」と回答した成人、こどもの割合

※「現状値」は、平成24年度実施の「食育に関するアンケート」で、朝食を「ほとんど食べない」と回答した成人、こどもの割合

※「こども」とは、幼稚園・保育園の年長児、小学5年生、中学2年生のこと

② むし歯のない3歳児の割合

むし歯のない3歳児の割合は、目標値には達していないものの、策定時よりも増加し、改善されました。歯が生えてくる1歳頃からの「しあげみがき」により歯磨きが習慣となるよう、健診や幼児相談などの機会をとらえ、医療機関とも連携して周知・指導に努める必要があります。



策定時の現状値 (H18)	目標値	現状値 (H23)	達成度
60.1%	70%以上	68.5%	○

※「策定時の現状値」は、平成18年度3歳児健康診査受診者のうち、「う触なし」と診断された3歳児の割合

※「現状値」は、平成23年度3歳児健康診査受診者のうち、「う触なし」と診断された3歳児の割合

③ 食事の時間が楽しい市民の割合

食事の時間が楽しい市民の割合は、「成人」「こども」ともに目標値に達しませんでした。今後は、家族一緒に食事をする「共食」の回数を増やし、食事の時間を楽しめるような施策を考えていく必要があります。

	策定時の現状値 (H19)	目標値	現状値 (H24)	達成度
成人	67.4%	80%以上	60.5%	△
子ども	58.3%	80%以上	59.6%	△

※「策定時の現状値」は、平成19年度実施の「食育に関するアンケート」で、家庭での食事が「楽しい」と回答した成人、こどもの割合

※「現状値」は、平成24年度実施の「食育に関するアンケート」で、家庭での食事の時間が「楽しい」と回答した成人（無作為）、こどもの割合

※「子ども」とは、小学5年生、中学2年生のこと

(2) 学校・保育関係機関における食育の推進

④ 食に関する指導計画を作成している幼稚園・保育園・小中学校等の割合

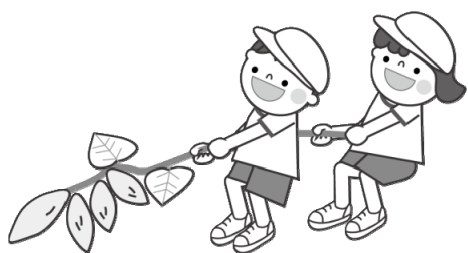
食に関する指導計画を作成している幼稚園・保育園・小学校・中学校の割合は、目標値には達していないものの、策定時より大幅に増加しました。なお、小学校・中学校では、100%と目標を達成しました。今後も引き続き、各学校・保育関係機関において、栄養教諭等を中心とした職員の連携・協力により食に関する指導計画の作成を推進します。

策定時の現状値 (H18)	目標値	現状値 (H23)	達成度
37.5%	100%	84.2%	○

※「策定時の現状値」は、平成18年度に食に関する指導計画を作成した小学校・中学校の割合

※「現状値」は、平成23年度に食に関する指導計画を作成した幼稚園・保育園（認可・認可外）・小学校・中学校の割合（未回答施設を除く）。内訳は、幼稚園62.5%、保育園76.7%、小学校100%、中学校100%

⑤ 食に関する体験学習を実施している幼稚園・保育園・小中学校等の割合



食に関する体験学習を実施している幼稚園・保育園・小学校・中学校の割合は、目標値には達していないものの、大幅に増加しました。なお、小学校・中学校では、100%と目標を達成しました。農林水産業をはじめとする食の体験を通して、食への関心と理解を深めることは非常に重要です。今後も引き続き、地域や農林漁業者関係者等と連携して、食に関連した体験学習に取り組んでいくことが求められます。

策定時の現状値 (H18)	目標値	現状値 (H23)	達成度
77.6%	100%	98.4%	○

※「策定時の現状値」は、平成18年度に農作業体験学習を実施した小学校・中学校の割合

※「現状値」は、平成23年度に食に関する体験学習を実施した幼稚園・保育園（認可・認可外）・小学校・中学校の割合（未回答施設を除く）。内訳は、幼稚園95.8%、保育園97.7%、小学校100%、中学校100%

(3) 地域における食育の推進

⑥ 食育の推進に関わるボランティアの数

市内各地域において食育推進に関するボランティアは増加し、目標を達成しました。食育推進のためには、各地域で生活に密着した活動に携わるボランティア団体の役割はとて重要です。今後も、食育の推進に関するボランティアの増加が期待されます。

策定時の現状値 (H18)	目標値	現状値 (H23)	達成度
276人	20%増	449人	◎

※「策定時の現状値」は、平成18年度「八戸市食生活改善推進員協議会」の人数

※現状値は、平成23年度の「八戸市食生活改善推進員協議会」「八戸友の会」「食楽研究所」「八戸きのこ友の会」「八戸グリーンヘルスクラブ」「八戸菓子商工業組合」の人数

⑦ 郷土料理を知っている市民の割合

郷土料理を知っている市民の割合は、目標値には達していないものの、策定時より高くなりました。今後も広く周知に努めていく必要があります。

策定時の現状値 (H19)	目標値	現状値 (H24)	達成度
92.2%	100%	93.9%	△

※「策定時の現状値」は、平成19年度実施の「食育に関するアンケート」で、「郷土料理を食べて（作って）いますか」に対し、「何が郷土料理かわからない」「無回答」以外の成人（無作為）の割合

※「現状値」は、平成24年度実施の「食育に関するアンケート」で、八戸地域の郷土料理を「知っている」と回答した成人（無作為）の割合

(4) 市民一人ひとりの食育の推進

⑧ 内臓脂肪症候群を認知している市民の割合

内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）を認知している市民の割合は、目標値には達しませんでした。今後も引き続き、生活習慣病予防のために広く周知していく必要があります。



策定時の現状値 (H19)	目標値	現状値 (H24)	達成度
78.0%	100%	73.2%	△

※「策定時の現状値」は、平成19年度実施の「食育に関するアンケート」で、メタボリックシンドロームの「内容を知っている」と回答した成人の割合

※「現状値」は、平成24年度実施の「食育に関するアンケート」で、メタボリックシンドロームの「内容を知っている」と回答した成人（無作為）の割合

⑨ 肥満者の割合

肥満者の割合は、「成人」は目標値には達していないものの、策定時より低くなりました。「1歳6か月児」、「3歳児」はともに高くなり、目標に達しませんでした。「児童・生徒」は11.1%と目標を達成しましたが、全国平均と比較すると全学年で肥満傾向児の出現率が高い現状にあります。肥満の予防・改善のためには、幼児期から高齢期まで中断なくライフステージに応じて、適正体重の維持を意識付けるとともに、食生活の改善、適度な運動等に努めていく必要があります。



	策定時の現状値	目標値	現状値 (H23)	達成度	
成人	32.7% (H17)	20%以下	28.9%	△	△
1歳6か月児	2.6% (H18)	減少	3.2%	△	
3歳児	1.3% (H18)	減少	1.9%	△	
児童・生徒	17.4% (H16)	15%以下	11.1%	◎	

※「成人」の「策定時の現状値」と「現状値」は、平成17年度と23年度の公益財団法人八戸市総合健診センター企業健診受診者のうちBMI25以上の者の割合

※「1歳6か月児」「3歳児」の「策定時の現状値」と「現状値」は、平成18年度と23年度に実施した健康診査において肥満度が20%以上の幼児の割合

※「児童・生徒」の「策定時の現状値」と「現状値」は、平成16年度と平成23年度の「八戸市児童・生徒の健康と体力」の小・中学校児童生徒の肥満度推移の全体平均。なお、平成21年度から肥満傾向の判定方法を全国と合わせた。

⑩ 食事のときあいさつをしている市民の割合

食事のときあいさつをしている市民の割合は、「こども」は目標値には達していないものの、策定時より高くなりました。「成人」は目標値に達しませんでした。あいさつを通して食に対する感謝の念や理解を深めていく必要があります。

	策定時の現状値 (H19)	目標値	現状値 (H24)	達成度	
成人	89.1%	100%	71.1%	△	△
こども	87.5%	100%	90%	△	

※「策定時の現状値」は、平成19年度実施の「食育に関するアンケート」で、食事のときにあいさつを「いつも言っている」「たまに言っている」と回答した成人と子どもの割合

※「現状値」は、平成24年度実施の「食育に関するアンケート」で、食事のときにあいさつを「いつも言っている」「たまに言っている」と回答した成人（無作為）と子どもの割合

※「こども」とは、小学5年生、中学2年生のこと

(5) 関係団体・民間企業における食育の推進

⑪ 普段食べている食品に不安を感じている市民の割合

普段食べている食品に不安を感じている市民の割合は、目標値には達していないものの、策定時より低くなりました。今後も正しい情報を伝え、不安を解消できるように関係団体と連携をとり、広く周知に努めていく必要があります。

策定時の現状値 (H19)	目標値	現状値 (H24)	達成度
66.0%	20%以下	47.1%	△

※「策定時の現状値」は、平成19年度実施の「食育に関するアンケート」で、「普段、食べている食品に安心していますか」に対し、「少し不安」「とても不安」と回答した成人の割合

※「現状値」は、平成24年度実施の「食育に関するアンケート」で、「普段、食べている食品に安心していますか」に対し、「少し不安」「とても不安」と回答した成人（無作為）の割合

⑫ 地産地消に関心を持っている市民の割合

地産地消に関心を持っている市民の割合は、目標値には達していないものの、策定時より高くなりました。地産地消を推進することは、新鮮な食材を得ることや、消費者自らが生産状況等を確認し安心感を得ることにつながります。今後も引き続き、農林漁業関係者や民間団体などと連携し地産地消を推進していく必要があります。

策定時の現状値 (H19)	目標値	現状値 (H24)	達成度
81.7%	100%	87.4%	△

※「策定時の現状値」は、平成19年度実施の「食育に関するアンケート」で、地産地消に「関心があり地元産の食材を使うように心がけている」「関心はあるが特に地元産にこだわっていない」と回答した成人の割合

※「現状値」は、平成24年度実施の「食育に関するアンケート」で、地産地消に「関心があり地元産の食材を使うように心がけている」「関心はあるが特に産地等にこだわってはいない」と回答した成人（無作為）の割合